

# 座間味村版DMO形成及び法人誘客事業 業務委託仕様書

## 1 委託業務名

座間味村版DMO形成及び法人誘客事業

## 2 委託期間

契約の日から平成30年3月15日

## 3 業務委託料： 19,980,000円（税込）以内

事業担当者や実施に関わる専門家などの旅費・費用弁償(座間味村営船舶運賃も含む)、各種の印刷料などすべてを含む。

## 4 事業の概要

本村の地方版総合戦略の核として、これまでの個人旅行客や修学旅行生に留まらず、法人誘客を行うことで新たな交流市場を開拓する。また、国内観光地間の競合が激化する中、村内観光関係団体の連携を強化し、戦略的に村観光を主導する座間味村版 DMO 構築に向けた協議会を立ち上げ、検討と人材育成を行う。

## 5 事業の背景と目的

国立公園指定を機に展開した各種観光PR事業により入域客数は増加しているが、観光は景気に左右されがちであり、レジャー客に限らず新たな交流対象を開拓することが求められる。また、6月～9月の夏季に観光客が集中し、冬場の閑散期との差が大きいことから通年の雇用が生まれにくく若年人口が定着しない一因となっている。

そこで、座間味村役場では村観光協会や民間事業者の協力を得て、法人を通年の新たな顧客に想定し、ダイビングを活かした企業研修や、サンゴ保全を取り入れたCSRの商品化に向け取り組んできた。今年度は商品化と販売に向けて、村内の合意形成と人材育成、マーケティングを行う。

並行して、上記のような着地型村商品開発や営業活動を行い、法人客の受入れ窓口としても機能する座間味村版DMOを整備することで村観光産業の強化と観光協会の自走化を図る。

## 6 委託業務の内容

### (1) DMO 構築支援

#### ① DMO 協議会（仮称）の運営

村内の官民連携での協議会を上げるとともに、その運営に係る資料作成や各種調整等を行い、日本版DMO候補法人登録を目指す。

#### ② 観光協会の財務健全化に向けた戦略策定

本村の DMO 形成の母体となることが想定される（一社）座間味村観光協会の財務健

全化に向けた戦略・施策案を策定すること。

- ③ 観光協会の事業計画の策定  
観光協会の計画的な業務執行に必要な事業計画（平成30年度分）の策定を行うこと。  
事業計画は、事業の進捗管理が可能な形式となるよう工夫すること。
- ④ 観光協会の業務改善・人材育成  
観光協会の業務改善や人材の育成に必要な各種支援・助言等を行うこと。
- ⑤ 観光協会ホームページの設計

(2) 法人誘客（ダイビングを活用した潜水体験研修）

- ① プログラムの詳細設計  
昨年度までのプログラム実証結果を踏まえて、プログラムの価格設定や運営体制案などの詳細を検討し、プログラム実行案を策定すること。
- ② 村内の合意形成  
村内のダイビング協会や観光協会等を含めた会議体を開催し、現地での運営体制等について各団体の合意を形成すること。
- ③ 人材の育成  
プログラムの担い手と想定される村内のダイバーが、プログラムを実践できるように、必要なスキル等を勘案した上で研修等を行うこと。必要に応じて、沖縄本島の研修への派遣や外部講師の招聘を行う。
- ④ プログラムの販売戦略の策定  
開発したプログラムを販売するための、必要な販売量や販売チャネルなどの検討を行い、販売戦略を策定すること。
- ⑤ マーケティング・販売促進  
潜水体験研修プログラムを販売するために必要な市場調査や認知度向上に向けた取組等、④のプログラム販売戦略に基づく各種マーケティング・販売促進を行うこと。また、マーケティングの一環として、ターゲット顧客を想定したファミトリップを1回以上実施すること。

(3) 法人誘客（CSR）

- ① 受入体制整備  
サンゴを活用したCSRなど、阿嘉島・慶留間島における閑散期プログラムを開発するために、本村における主要プレイヤー（臨海研究所、漁協、ダイビング協会、環境省等）による合意形成を促進するための資料作成や会議体の運営を行うこと。
- ② プログラム開発  
本村において法人誘客を加速化するために、各種情報収集や必要に応じて外部講師を招請するなどして、CSRによる法人誘客のプログラム開発を支援すること。

7 報告書作成について

平成30年3月の事業終了時に、本事業実施に関する報告書と今後の事業展開に向けての助言書を提出する。